

## エリア内速度測定サイト 首都圏用

こちらのサイトにて、お客様端末からフレッツ・スクウェア  
(東京に設置したサーバ)までの速度を測定することができます。

※表示される速度は測定中の速度の平均値であり、回線の最大速度を表すものではありません。また、結果として表示される速度は、ご利用の端末のOSや性能、及びその時のネットワークの混み具合やサーバへのアクセス状況等により変化致します。

### 【ご注意】

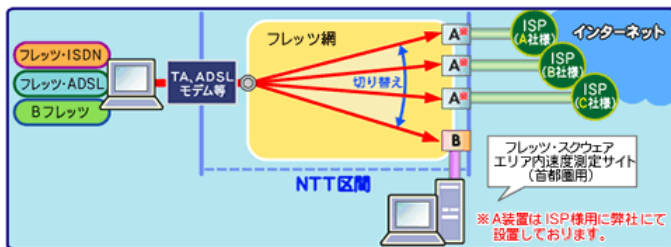
東京、神奈川、千葉、埼玉エリア以外のお客様が利用した場合も速度が表示されますが、東京エリアに設置したサーバまでの測定となっておりますので、各「エリア内速度測定サイト(首都圏以外用)」で測定するよりも、低い結果がでる可能性があります。

●「エリア内速度測定(首都圏以外用)」につきまして、詳しくは[こちら](#)をご覧ください。



- 「Bフレッツ 100Mbps」・・・「ビジネスタイプ」「ベーシックタイプ」「ニューファミリータイプ」「ハイパーファミリータイプ」「マンションタイプでPNAをご利用でない場合」のお客様はこちらにて測定してください。
- 「Bフレッツ 10Mbps」・・・「ファミリータイプ」「マンションタイプでPNAをご利用の場合」のお客様はこちらにて測定してください。

こちらのサイトにて、お客様端末からフレッツ網を経由して、フレッツ・スクウェアまで※1の速度をご確認いただけます。



- ※1 インターネットへ接続する場合は、弊社B装置ではなく、弊社A装置を経由いたします。A装置の設置場所は、B装置と異なる都道県に設置されているケースもあり、B装置に比べお客様宅から遠い場合もございます。したがってそれぞれの装置を経由した速度を単純に比較することはできず、装置やISP様ネットワークの状況によりましては、こちらのサイトでご確認いただいた速度と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。表示される速度は、測定中の速度の平均値であり、回線の最大速度を表すものではありません。また、結果として表示される速度は、ご利用の端末のOSや性能、及びそのときのネットワークの込み具合やサーバへのアクセス状況等により変化いたします。



本サイトからインターネット上のホームページにはアクセスできません。インターネットへアクセスする場合は、現在の接続を切断しご契約プロバイダの設定を行い、再接続してください。

※ご契約のプロバイダに接続できない場合は、再度ユーザIDとドメイン名及びパスワード等に間違いがないかをお確かめ下さい。

## 参考:速度実績/チューニング(RWIN値変更)効果

弊社にて速度を確認した結果、端末のチューニングによる効果等を参考として紹介しています。  
**チューニング(RWIN値変更)を実施される場合は、自己の責任において十分ご注意の上、実施願います。**

### 速度測定実績

2種類の端末にて、チューニング(RWIN値変更)の実施前後での速度測定実績  
 (回線環境:Bフレッツ ハイパーファミリータイプ)

実施端末	OS	CPU	メモリ	PPPoEソフト	チューニング (RWIN値変更)	平均(100回) 【Mbps】
端末1	WindowsXP	Pentium(R)M 1.7GHz	2GB RAM	フレッツ接続ツールVer3	なし	74.6
					<b>実施</b>	<b>82.5</b>
端末2	WindowsME	PentiumIII 650MHz	192MB RAM	フレッツ接続ツールVer3	なし	26.2
					<b>実施</b>	<b>55.7</b>

### チューニング(RWIN値変更)とは

ここで実施したチューニングとは、パソコンが通信を行う上でのレジストリ内のパラメータのひとつ「RWIN」を大きくしています。  
 具体的には、以下の変更を行っています。

実施端末	チューニング前	チューニング実施
端末1	65Kbyte	131Kbyte
端末2	17Kbyte	131Kbyte

- ▶ RWIN値とスループットの関係は[こちら](#)
- ▶ チューニング(RWIN値変更)の方法は[こちら](#)
- ▶ チューニング後のRWIN値確認方法は[こちら](#)
- ▶ よくあるお問い合わせは[こちら](#)

### インターネット上でも速度測定してみよう

インターネット上の速度測定サイトを紹介します。

RBB TODAY <http://speed.rbbtoday.com/>

## 《速度実績(参考)》

### RWINについて

TCP/IP通信では、受信側が一定量のデータを受信するたびに送信側に受信確認を応答するという方式をとっています。RWIN(Receive Window Size)とは、TCP/IP通信を行う際のパラメータの一つで、受信側が送信側への受信確認を実施せずに受け取ることができるデータ量を表しています。データ送信側は、RWIN値に達するまで受信確認応答を待たずにデータを送信する事ができます。

#### <RWIN値を大きくした際のメリット>

RWIN値を大きくすると受信確認が頻繁に発生しなくなり、送信側が受信確認応答を待つ機会が減ることから、通信の効率が良くなる場合があります。特にインターネット通信のように、伝送の遅延時間が長い場合ほどRWINの値を大きくすると有利になる場合があります。

#### <RWIN値を大きくした際のデメリット>

但し、RWIN値を大きくすることはデータ伝送にエラーが発生しない場合には効率のよい結果を生み出しますが、実際の通信において再送信が必要な状況が発生した場合等には、通信効率がかえって低下することもあります。下記の要因によりRWIN値変更による効果の度合いが異なることも考えられます。

- ・ご利用の端末環境
- ・アクセスサービス区間での伝送損失
- ・通信先との距離に依存する伝送遅延
- ・混雑状況に依存する伝送遅延
- ・通信先サーバ等の環境

また、RWIN値(レジストリ)変更にあたっては、パソコンの正常性等に対し、リスクが発生します。

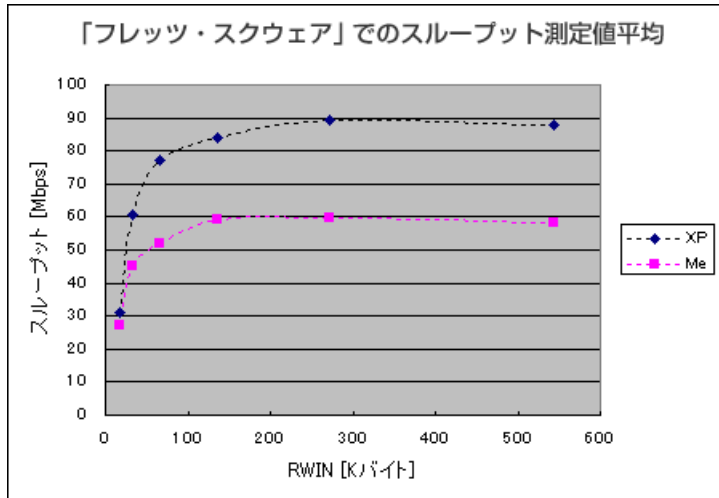
#### <RWIN値変更の際の注意点>

RWIN値(レジストリ)を変更される場合は、自己の責任において十分ご注意の上、実施願います。



## RWIN値とスループットの関係

弊社にてBフレッツ・ハイパーファミリータイプ及びWindows端末(フレッツ接続ツールVer.3を利用)を用いて速度を確認した結果を参考としてご紹介します。



※【注意事項】

- ・フレッツ・スクウェア内にお問い合わせ窓口を設けておりますが、チューニング(RWIN値変更)に関するサポートは、本サイトで紹介している「チューニングファイルのダウンロード方法」、「チューニング設定手順」に限らせていただきます。
- ・チューニング(RWIN値変更)の効果に関しましては、パソコン及びネットワークの状況等により異なりますので、お問合せはお受けいたしかねます。
- ・チューニング(RWIN値変更)の実施にあたりましては、自己責任での実施をお願いいたします。
- ・チューニング(RWIN値変更)で発生したいかなる問題に関しても、一切の責任は負いません。また、それによりお客様に生じた損害についての賠償等は一切いたしません。

[← 戻る](#)

## チューニング(RWIN値変更)の方法

下記「STEP1.チューニングファイルのダウンロード」の項目より、ご利用のパソコンのOS種別等に該当するファイルをダウンロードいただき、「STEP2.チューニング設定手順」を実施いただくとチューニングが実施されます。

### ※【注意事項】

- ・フレッツ・スクウェア内にお問い合わせ窓口を設けておりますが、チューニング(RWIN値変更)に関するサポートは、「チューニングファイルのダウンロード方法」、「チューニング設定手順」に限らせていただきます。
- ・チューニング(RWIN値変更)の効果に関しましては、パソコン及びネットワークの状況等により異なりますので、お問合せはお受けいたしかねます。
- ・チューニング(RWIN値変更)の実施にあたりましては、自己責任での実施をお願いいたします。
- ・チューニング(RWIN値変更)で発生したいかなる問題に関しても、一切の責任は負いません。また、それによりお客様に生じた損害についての賠償等は一切いたしません。
- ・チューニング(RWIN値変更)前にレジストリ及び重要なデータのバックアップをとることをお奨めいたします。
- ・チューニング(RWIN値変更)前に、レジストリ変更によるパソコンメーカー、Microsoft社の保証、サポート等について十分ご注意ください。

### STEP1.チューニングファイルのダウンロード

対象回線：Bフレッツ全般

対象OS等：WindowsXP Home Edition(SP1、SP2)、WindowsXP Professional(SP1、SP2)

#### WindowsXPの方

RWINを大きく(262.140Kbyteに)したい方

> ダウンロード

RWINを大きく(131.070Kbyteに)したい方

> ダウンロード

RWINを初期値にもどしたい方

> ダウンロード

[↑ ページの先頭へ戻る](#)

### STEP2. チューニング設定手順

※設定は「administrator権限」にて行ってください。

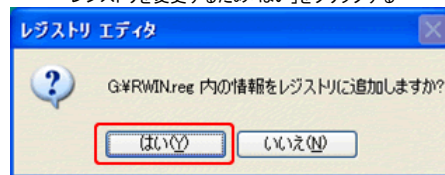
下記の作業に移る前にレジストリ及び重要なデータのバックアップを行なうことをお奨めします。

STEP1. にてダウンロードされたRWIN.regファイルを右クリックするRWIN.reg

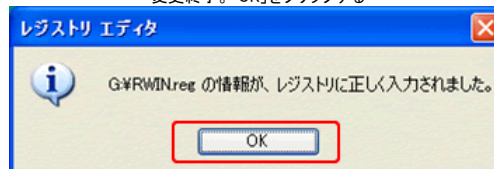
表示されたメニューの「結合(G)」を選択



レジストリを変更するため「はい」をクリックする



変更終了。「OK」をクリックする



OSの再起動。(設定を有効にするために実施)

以上でチューニングは完了です。

[↑ ページの先頭へ戻る](#)

[← 戻る](#)

## チューニング後のRWIN値確認方法

Windows XP:

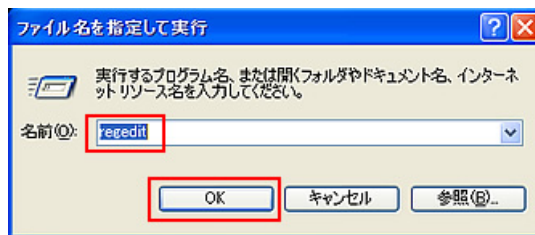
- レジストリエディタの起動
- チューニング確認画面: RWIN値131070の場合
- チューニング確認画面: RWIN値262140の場合
- チューニング確認画面: RWIN値初期値に戻した場合

※環境により説明と実際の画面が異なる場合があります。

本資料はWindowsXPのレジストリエディタを利用しRWIN値を確認する方法となります。  
変更・削除等行なわないよう十分に注意をして確認願います。  
チューニング(RWIN値変更)を実施される場合は、自己の責任において十分ご注意の上、実施願います。

### チューニング確認画面(WindowsXP版):共通(レジストリエディタの起動)

Windows「スタート」メニューより「ファイル名を指定して実行」を選択し、「regedit」と入力し、「OK」ボタンをクリックする。



[↑ ページの先頭へ戻る](#)

### チューニング確認画面(WindowsXP版):RWIN値131070の場合

1. レジストリ エディタより、

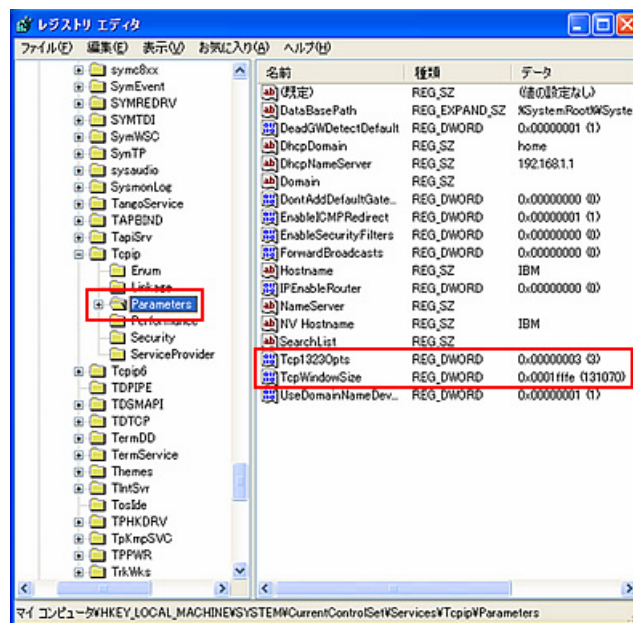
「HKEY\_LOCAL\_MACHINE」  
↓  
「SYSTEM」  
↓  
「CurrentControlSet」  
↓  
「Services」  
↓  
「Tcpip」  
↓  
「Parameters」

という順序にて「Parameters」を開く。

下記2つのファイルがあることを確認。

「Tcp1323Opts REG\_DWORD 0x00000003 (3)」  
「TcpWindowSize REG\_DWORD 0x0001fffe (131070)」

↓  
「レジストリエディタを閉じる」

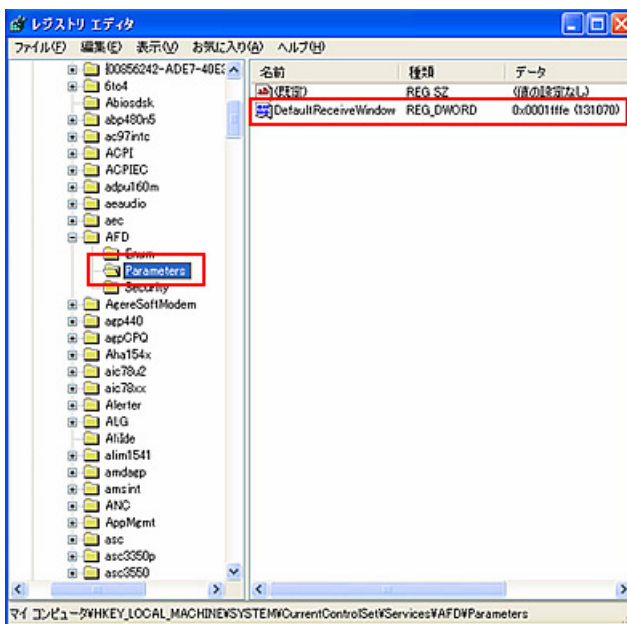


以下は WindowsXP Service Pack 2 の方のみご確認ください。

2. レジストリ エディタより、

「HKEY\_LOCAL\_MACHINE」  
↓  
「SYSTEM」  
↓  
「CurrentControlSet」  
↓  
「Services」

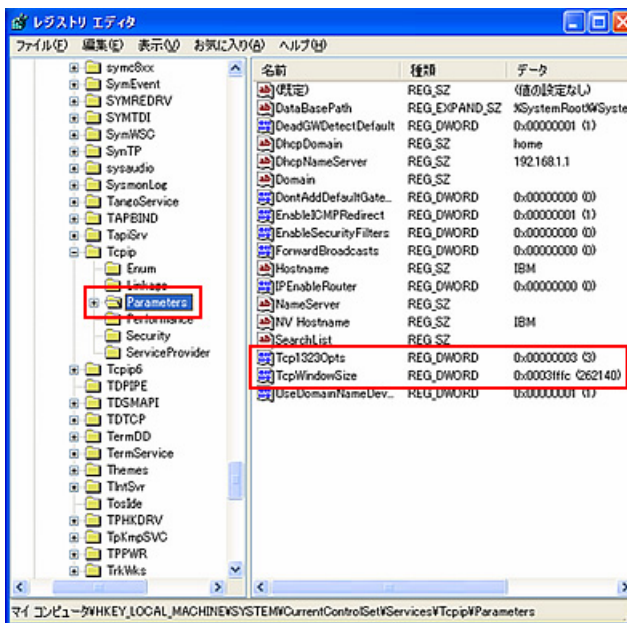
↓  
「AFD」  
↓  
「Parameters」  
↓  
という順序にて「Parameters」を開く。  
↓  
下記のファイルがあることを確認。  
「DefaultReceiveWindow REG\_DWORD  
0x0001fff(131070)」  
↓  
「レジストリエディタを閉じる」



↑ ページの先頭へ戻る

チューニング確認画面 (WindowsXP版):RWIN値262140の場合

1. レジストリ エディタより、  
「HKEY\_LOCAL\_MACHINE」  
↓  
「SYSTEM」  
↓  
「CurrentControlSet」  
↓  
「Services」  
↓  
「Tcpip」  
↓  
「Parameters」  
↓  
という順序にて「Parameters」を開く。  
↓  
下記2つのファイルがあることを確認。  
「Tcp1323Opts REG\_DWORD 0x00000003  
(3)」  
「TcpWindowSize REG\_DWORD 0x0003fff  
(262140)」  
↓  
「レジストリエディタを閉じる」

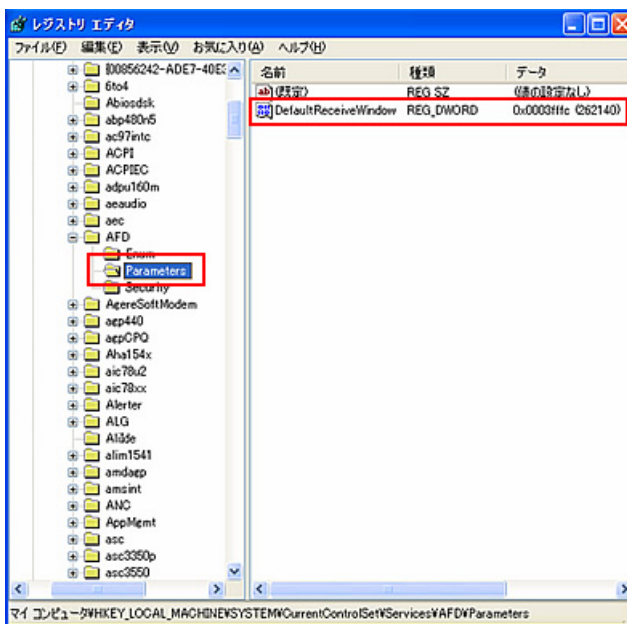


以下は WindowsXP Service Pack 2 の方のみご確認ください。

2. レジストリ エディタより、  
「HKEY\_LOCAL\_MACHINE」  
↓  
「SYSTEM」  
↓  
「CurrentControlSet」  
↓  
「Services」  
↓  
「AFD」  
↓  
「Parameters」  
↓  
という順序にて「Parameters」を開く。

下記のファイルがあることを確認。  
**「DefaultReceiveWindow REG\_DWORD 0x0003fff0(262140)」**

↓  
 「レジストリエディタを閉じる」



↑ ページの先頭へ戻る

**チューニング確認画面 (WindowsXP版):RWIN値初期値に戻した場合**

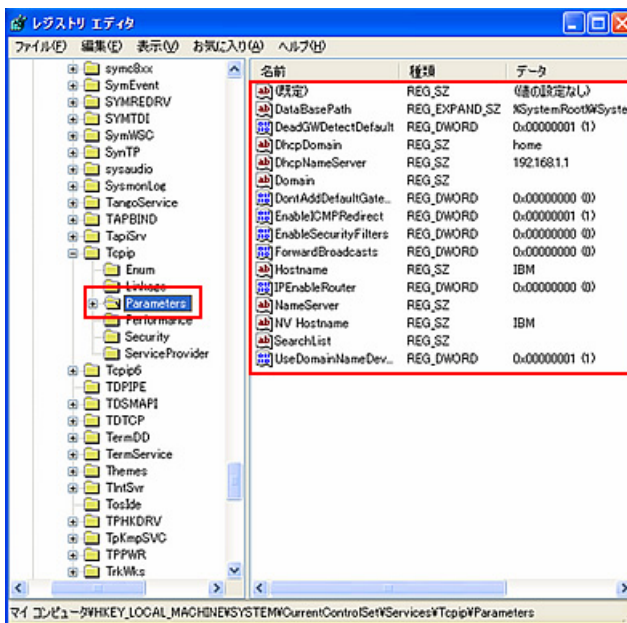
1. レジストリ エディタより、

「HKEY\_LOCAL\_MACHINE」  
 ↓  
 「SYSTEM」  
 ↓  
 「CurrentControlSet」  
 ↓  
 「Services」  
 ↓  
 「Tcpip」  
 ↓  
 「Parameters」

という順序にて「Parameters」を開く。

下記2つのファイルがないことを確認。  
**「Top1323Opts」**  
**「TopWindowSize」**

↓  
 「レジストリエディタを閉じる」



以下は WindowsXP Service Pack 2 の方のみご確認ください。

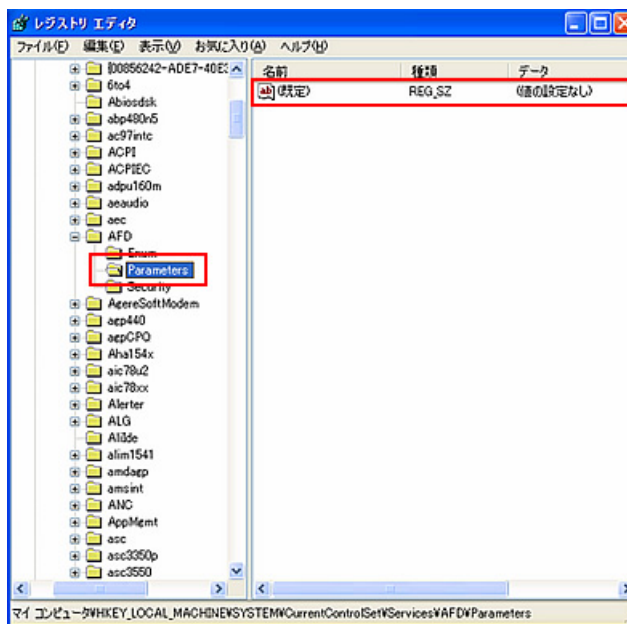
2. レジストリ エディタより、

「HKEY\_LOCAL\_MACHINE」  
 ↓  
 「SYSTEM」  
 ↓  
 「CurrentControlSet」  
 ↓  
 「Services」  
 ↓  
 「AFD」  
 ↓  
 「Parameters」

という順序にて「Parameters」を開く。



下記のファイルがないことを確認。  
「DefaultReceiveWindow」  
↓  
「レジストリエディタを閉じる」



↑ ページの先頭へ戻る

